Tsukuba Bioscience Hall Tsukuba Bioscience Hall Tsukuba Bioscience Hall Tsukuba Bioscience Hall Tsukuba Bioscience Hall Tsukuba Bioscience Hall Tsukuba Bioscience Hall Tsukuba Bioscience Hall Tsukuba Bioscience Hall

農林交流センター

人と技術を強くする

農林交流センターニュース

第528号 2024.4.2

第241回 農林交流センターワークショップ

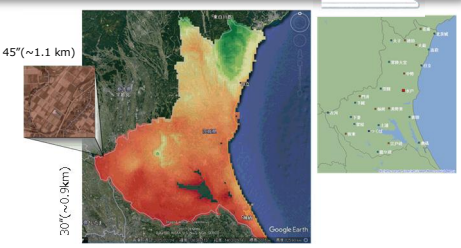
発行：農林水産省農林水産技術会議事務局
筑波産学連携支援センターコーディネーション推進課
〒305-8601茨城県つくば市観音台2-1-9 Tel.029-838-7136

Pythonによる メッシュ農業気象データ利用講習会（初・中級者向け）

※Pythonに特化した講習会です。開催日については、「講義と実習の概要」をご参照ください。

近年の温暖化傾向に伴い、高温による減収や品質低下が各地で問題となっており、これを克服する技術の開発が全国で進められています。また、農業人口の高齢化に伴って「担い手」に集積する小規模で分散した圃場を効率的に経営するために、複数の作物や品種を組み合わせて機材の稼働や労働を平準化する技術が求められています。メッシュ農業気象データシステムは、このような技術の開発を支えることを目標に開発された気象情報サービスで、1980年から来年までの広い期間の多彩な日別気象値（一部要素については時別値も）と、気候温暖化シナリオを、1kmメッシュで全国についてオンデマンドで取得することができます。

本講習会は、メッシュ農業気象データについて理解するとともに、プログラミング言語Pythonでデータを取得・処理する技術の習得のための講習を中心に、表計算ソフトExcel、新たにR言語での利用例を実演します。



▲国内任意の地点における気象データを提供
（日別気象データを約1km×1kmの単位で全国について取得できます。）

■受講方法

1．6月 4日（火）：環境構築相談・予備講習（Pythonの基礎）
2．6月19日（水）：本講習（※オンライン開催）
3．7月 4日（木）～5日（金）：グループ実習
（※3．会場：筑波産学連携支援センター茨城県つくば市観音台2-1-9）
※6月4日（火）は、Microsoft Teams によるオンライン、または
筑波産学連携支援センターを会場とする対面のハイブリットで開催します。
申込時に、受講方法の選択をお願い致します。

■主催

農林水産省農林水産技術会議事務局筑波産学連携支援センター
国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 （農研機構）

■対象

産学官の研究・開発に従事している方で、気象データの農業利用に関心のある方

■募集人数

36名程度（参加費は無料）
※全日程に参加することとし、代理の方の参加は認めていません。

■コーディネーター

農研機構 農業環境研究部門 気候変動適応策研究領域
上級研究員 **佐々木 華織**
（※他、講師・実習補助：10名）

■申込条件（※他条件あり、HPにてご確認ください。）

重要!

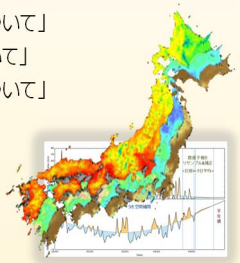
メッシュ農業気象データ利用者であること（本申込と同時に新規利用申請されても、審査に間に合わない可能性があります）。

他、参加に関する諸条件は、
お申込み前に必ずホームページにてご確認ください。

講義と実習の概要

【 6月4日（火）】環境構築相談・予備講習（Pythonの基礎）※希望者のみ
10:00～12:00 利用環境構築（PCの設定）に関する相談
13:00～14:30【実習】「1. Pythonの基礎」
14:40～16:10【実習】「2. numpyの基礎」
16:10～17:00【質疑応答】

【 6月19日（水）】本講習 ※全員必須
（講義及びチュートリアルによるPythonを用いたメッシュ農業気象データ利用の基礎）
10:00～10:10【オリエンテーション・講師自己紹介】
10:10～10:40【講義】「メッシュ農業気象データの利用について」
10:40～11:10【講義】「メッシュ温暖化シナリオデータについて」
11:20～12:00【講義】「メッシュ農業気象データの精度について」
13:00～14:00【実習】「3. 気象データの取得 」
14:10～14:40【実習】「4. 地理情報の利用 」
14:40～15:00【実習】「5. csvファイルの読み書き 」
15:00～15:20【実習】「6. データの集計 」
15:30～17:10【実習】「7. 発育の予測 」



【 7月4日（木）】グループ実習（1日目） ※全員必須
13:00～13:05【挨拶】筑波産学連携支援センター
13:05～14:10【オリエンテーション・実習補助及び参加者自己紹介】
14:10～14:50【講義】「課題解決に向けたプログラミングのコツ」
15:00～16:00【グループワーク】「アプリケーション開発に関する検討（班ごと）」
16:10～17:10【グループワーク】「アプリケーション開発（班ごと）」

【 7月5日（金）】グループ実習（2日目） ※全員必須
09:00～09:10【オリエンテーション】
09:10～12:00【グループワーク】「アプリケーション開発（班ごと）」
13:00～15:00【発表】「アプリケーション開発結果発表（各班20分）」
15:00～15:10【閉会】

ワークショップのお申込み方法＆お問い合わせ

お申込み方法について

筑波産学連携支援センターのホームページより、お申し込みください。

※ご所属機関で参加希望者を取りまとめて申し込みされる場合は、ホームページより申込書と申込アンケートをダウンロード後、ご所属機関の窓口にご提出いただき、ご所属機関の窓口から koryu7129@cc.affrc.go.jp 迄送信頂きますようお願いいたします。

申 込 方 法：左記により令和6年4月24日（水曜日）までにお申し込みください。（必着）
受講者決定：令和6年5月8日頃、メールにてお知らせいたします。

筑波産学連携支援センター ホーム 検索 ★詳しくはHPをご覧ください。

《お問い合わせ先》
農林水産省農林水産技術会議事務局 筑波産学連携支援センター
コーディネーション推進課 鈴木・木暮
TEL:029-838-7136 **FAX**：029-838-7204 **E-mail**：koryu7129@cc.affrc.go.jp

Tsukuba Bioscience Hall Tsukuba Bioscience Hall Tsukuba Bioscience Hall Tsukuba Bioscience Hall Tsukuba Bioscience Hall Tsukuba Bioscience Hall Tsukuba Bioscience Hall Tsukuba Bioscience Hall Tsukuba Bioscience Hall